JR連合
九州地協情報
2023年
2月 24日
No.65
日本鉄道労働組合連合会
九州地方協議会
（ＪＲ連合九州地協）
発行責任者　芦原 秀己
編集責任者　木村 智隆

「2023春季生活闘争勝利！総決起集会」開催

ＪＲ連合九州地協（ＪＲ九州労組、ＪＲ西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、ＪＲ九州バス労組）は、2月 18 日（土）、福岡市「福岡県中小企業振興センター」において「2023 春季生活闘争勝利！総決起集会」を開催（参加者数約 70 名）し、賃金引上げや総合生活改善を通じたＪＲ産業全体の魅力回復・向上にむけ、労働組合に護られていないグループ会社や協力会社等の仲間にも想いを馳せて、ＪＲ連合九州地協加盟４単組が一丸となって闘うことを確認した。

挨拶する芦原議長

ＪＲ連合九州地協米村副議長（ＪＲ西労組福岡）の開会あいさつに続き、主催者を代表してあいさつに立った芦原議長（ＪＲ九州労組）は「長期に亘るコロナ禍を受け、さらには、ロシアのウクライナ侵攻の影響などにより、我々を取り巻く環境は極めて厳しい状況が続いているが、全国旅行支援の開始や入国制限の緩和など、公共交通への不安解消、感染防止と人流回復を両立する政策に舵が切られ、これまでの状況からフェーズが変わってきた。長引くコロナ過の影響により、ＪＲ産業は累積したダメージも大きく、長期債務の拡大などによって、経営体力は大きく低下し、成長投資や人件費の回復を図りながら債務を縮減するのは容易ではないが、継続した支援を求めるとともに、中長期を展望したＪＲ連合の政策提言を実現し、持続可能で魅力あるＪＲ産業を創造しなければならない。2023 春季生活闘争はコロナ禍を乗り越え、反転攻勢へのターニングポイントとすべくＯＮＥ　ＴＥＡＭとなって力強く臨んでいこう」と述べ、九州地協に結集する加盟単組・組合員に対し、団結を一層強化し2023 春闘に全力で取り組むよう奮起を促した。

アマチュア落語家
粗忽家 勘心　氏

集会では、特別講演として「アマチュア落語家：粗忽家勘心氏」による出前落語を開催し、人権・男女共同参画における意識啓発・向上にむけ、笑いを交えた分かり易い講演を頂いた。基調講演では「ＪＲ連合労働政策局長：鎗光俊勝氏」より「「2023 春季生活闘争を取り巻く情勢」について、現下の情勢を踏まえ、ＪＲ連合統一ベア要求 3,000 円をはじめとする、2023 春闘交渉にむけた、ＪＲ連合及び加盟各単組の取り組みが提起された。その後、ＪＲ連合九州地協加盟各単組代表による決意表明、集会アピール（案）提案・採択が行われ、ＪＲ連合九州地協田代副議長（貨物鉄産労九州）の閉会挨拶の後、最後に芦原議長による「団結がんばろう」を参加者全員で力強く三唱し閉会した。

【決意表明する単組代表】

（九州労組：住吉中執）

（西労組：大戸書記長）

（貨物鉄産労：赤松書記長）

（ﾊﾞｽ労組：井手執行委員）